

# 西東京市が誕生してまもなく4年！ …合併効果について紹介します…



来春の開園に向け、整備が進む(仮称)合併記念公園(西東京いこいの森公園)

21世紀最初の都市型合併として、全国に先駆けて誕生した西東京市は、平成15年度末で早くも3年が経過しました。この間の行財政運営は、新市への想いや願いを込めて合併協議会によって作成された新市建設計画に基づいて進められてきました。合併後、新市のまちづくりはどのように進められ、そして市民の皆さんの生活にはどんな変化が生まれているのでしょうか。3年間の市の取り組み状況について紹介します。企画課(☎区内線1120、1121)

## 1 着実に進む経費の削減と財政支援の状況

Q 経費の削減はどの程度進んだの？

A 3年間で約28億3千万円削減されました。

合併による削減効果の主な内容として、職員の人件費や市議会議員の報酬、東京都へ委託している消防事務事業などがあります。

Q 合併による財政支援はどんなものがあるの？

A 国や東京都から合併に伴う財政支援を受けています。

合併準備のための経費や新市のまちづくりに対する補助金として約12億7千万円交付されました。また、地方交付税の算定の特例や合併特例債の活用が認められています。

## 2 新市建設計画事業の主な実施状況

Q 新市建設計画事業の実施状況は？

A 3年間の新市建設計画事業の総額は約208億円です。

削減された経費や国・東京都からの財政支援を活用し、新市建設計画事業の推進による新市のまちづくりや市民サービスの向上に努めています。新市建設計画事業の主な実施状況は次のとおりです。

### ～やさしさとふれあいのまち 西東京～

豊かなみどりを保つために



はなみずき

合併に伴う財政支援を活用し事業を推進しています！！



けやき



つつじ



ひまわり



コスモス



すいせん

西東京市は動植物・野鳥・昆虫など身近な生き物の生息空間を確保し、日常生活のなかで自然とふれあえる、人と自然環境の健全な共生をめざします。

合併に伴う財政支援を活用している工事中の事業では、市の木・市の花を用いた表示をしています。

### 安全で快適なまち

事業名	3か年事業費	実施状況
コミュニティバスの運行	3億5,465万円	交通空白地域の解消と公共施設への利便性の向上を図り、市民の交流を促進するため、コミュニティバス(通称：はなバス)を運行しています。
都市計画道路の整備(保3・4・12号線(現西3・4・15号線))	18億5,361万円	通勤通学の利便性や、商業の活性化、地域環境の向上を図るため、保谷駅北口へ通じる道路と駅前広場を整備しており、平成15年度一部区間について共用を開始しました。
田無庁舎・敷地整備事業	3億748万円	2階の市民ロビーの拡張とともに、1階から2階市民ロビーへ通じるエスカレーターを設置等を行い、市民の憩いのスペースとして利用されています。
緊急物資の充実	9,705万円	生活用品、災害用医薬品、備蓄倉庫等の緊急物資の充実を計画的に進め、災害時における迅速かつ円滑な救援体制の確立を目指しています。
地域防災無線の増設工事	2億2,021万円	災害時における情報通信網の充実を図るため、旧田無地域において平成13年度に地域防災無線を増設しました。

### さまざまな産業が育つまち

事業名	3か年事業費	実施状況
地域産業の育成	5,287万円	商工会ホームページの運営や創業・開業予定者等を支援する創業支援相談センターを開設し、産業振興の活性化に寄与しています。

### 市民が参加する活力あるまち

事業名	3か年事業費	実施状況
地域情報化の推進	10億5,171万円	情報通信技術を活用し、公共施設予約システム、図書検索・予約システム、各種証明書等自動交付機の設置、ホームページの充実等の整備を進め、地域情報化の推進を図ることで、市民の皆さんの利便性の向上に努めました。
女性センターの整備について検討	2,410万円	平成14年度から市民会館内において女性相談事業を実施しています。今後、住吉福祉会館の建て替えに合わせ、女性センターの整備を計画しています。
上向台地区会館の建設	1億4,509万円	両館とも平成15年1月に開館しました。市民交流施設として、自主的な学習・文化活動に利用されています。
東伏見コミュニティセンターの建設	2億8,722万円	

### 地域の中で支えあう福祉のまち

事業名	3か年事業費	実施状況
芝久保児童館・学童クラブの建替	9,192万円	学童クラブや集会室を備え、地域のニーズに対応した地域開放型児童館として整備しました。
しもほうや・やぎさわ保育園の改修工事	8,686万円	改修工事により、良質な保育環境の整備とともに待機児の解消にもつながっています。
痴呆性高齢者等グループホームの整備	4,180万円	平成13年度に精神障害者グループホーム、平成14年度に痴呆性高齢者グループホームを各1か所開設しました。
福祉のまちづくりの推進	2億7,097万円	高齢者や障害者など全ての人が円滑な移動ができるように駅のバリアフリー化を進めています。平成15年度までに保谷駅、東伏見駅、ひばりヶ丘駅の一部にエレベーターやエスカレーター等を整備しました。

### 環境にやさしく美しいまち

事業名	3か年事業費	実施状況
(仮称)合併記念公園の整備	96億72万円	(通称)東大原子核研究所跡地を新市のシンボルのな総合公園として平成17年度の開園に向けて整備しています。

### 若者を育てるまち

事業名	3か年事業費	実施状況
小・中学校体育館大規模改造事業	5億9,258万円	保谷小、保谷第一小、東伏見小、泉小、東小、ひばりが丘中、柳沢中
小・中学校耐震補強事業	3億2,562万円	谷戸小、向台小、芝久保小、谷戸第二小、柳沢小、上向台小
けやき小学校建設事業	34億4,625万円	良質な教育環境の確保とともに地域開放型の生涯学習の拠点施設として、平成16年1月に開校しました。
小学校給食の食器改善	2億1,995万円	全ての小学校で豊かな食生活や安全性の向上を目的として、アルマイト食器から家庭で使われる食器と同様な強化磁器食器に改善しました。
教育相談機能の充実	407万円	子どもたちを取り巻く様々な問題の解決に向けて、関係機関等との連携を図りながら、相談機能の充実に努めています。